



語り部養成講座

閉講式

六月に開講した第十九回語り部養成講座が閉講式しました。全六回の講習を十五名の生徒が受講し、講座の最終日には自分で選んだ民話を語りました。



夕鶴の里資料館報

平成30年8月20日

第 92 号

発行 夕鶴の里

TEL 47-5800



今回は大人の部の受講生が全員初参加で語りも初めてでしたが、家事や車を運転しながらなど工夫して練習に励んでいたようで、最終日の発表会では皆さん堂々とした語りを披露していました。来年は受講されてみてはいかがでしょうか。初心者大歓迎です。

染め織り講習会が

始まりました

七月二十一日から染め織り講習会が始まりました。初回は自分が作るマフラーのデザインを考え、蚕の繭から真綿を作る体験をしました。次回は横糸となる真綿を紅花で染色します。

↓デザインを皆で考えます



↑真綿作り体験中

第19回夕鶴の里 民話まつり

日時：10月14日(日)

午後1時開演

場所：夕鶴の里語り部ホール

◇民話会ゆうづるの語り

◇ゲスト

渡部豊子さん(伝承の語り手)の語り&トーク

入場料：200円

(小学生以下無料)



第20回夕鶴の里

子どもまつり

日時：9月30日(日)

午前10時30分開演

場所：夕鶴の里語り部ホール

◇ゲスト

東北文教大学児童文化部

(人形劇、手遊び、パネルシアター等)

入場料：無料

## 昔のあそび ピザを作って食べよう

七月二十九日に 晋のあそびピザを作って食べよう」が開催されました。  
ビニール袋に材料を入れ混ぜるだけでピザ生地ができて、あとは好きな具材をトッピングするだけというお手軽ながらも大変美味しいピザができました。



毎日、暑い日が続きますね。今年は雨も少なく農作物の管理も大変なのではないでしょうか。  
伝説民話「白竜湖の琴の音」は赤湯村の百姓衆が白竜湖の水神様に雨乞いをする話です。さて、農村で実際に行われた雨乞いはどのようなものだったのでしょうか。南陽市で実際に行われた雨乞いの様子をご紹介します。  
雨乞いには火を焚き祈禱する事例が多いそうです。「白竜湖の琴の音」にも  
「火たいて、みんなで雨乞いしたごんだ。」  
とあります。菰にある鳳寮神社では雨乞いの時には大勢の人が神社に集まり火を焚きながら太鼓を打ち鳴らし大声で  
「雨給ンモレ、タンモレ」  
と三日三晩叫んだそうです。それでも降らない場合は神様を怒らせるためご本尊の石地蔵を石段の最上段から転がしたり菅淵、とんとん淵と呼ばれる淵に沈めたりした。とあります。水神様の機嫌を取るため娘を差し出す「白竜湖の

## 百姓と雨乞い

琴の音」とは正反對です。ね。羽付にある稻荷神社では神社にあって触れると雨が降るといふ言い伝えがあり、雨乞いの時に使われたそうです。  
熊野大社でも安永二年の干ばつの際に北条郷の肝煎等が雨乞いのために参詣した記録があります。また、蒲生田の葉山神社は作神として信仰されています。民が籠堂にこもり太鼓を叩きながら拝み上げをやったそうです。

南陽市の事例で主なものも挙げましたが、他の地域の祈禱は行われていた。た。雨が降らず農作物が育たないことは百姓たちにとって最大の不安でした。ですから天気予報の無い時代は神様に頼るほかなかったのです。  
もしかしたら皆さんの身近にある神社やお寺でも雨乞いをやっていた言しい伝えが残っているかみて下さい。ぜひ、調べて

- 〈参考文献〉
- ・夕鶴の里の民話
  - ・南陽市の民話（一）
  - ・南陽市史 民俗編
  - ・南陽のくらしと文化
  - ・米沢百科事典

## 九月の

## 昔のあそび

押し花でしおりを作ろう」

- ◆日時 九月二十二日（土）
- ◆時間 十時～
- ◆場所 夕鶴の里
- ◆参加費 無料

いろいろな草花の押し花と紙を組み合わせてオリジナルのしおりが作れます。ぜひ、ご参加下さい。

